

〈 第2号議案 〉

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

平成29年度事業計画書（案）

（平成29年1月1日～12月31日）

平成29年度計画した事業の概要は、次のとおりである。

1. 第69回結核予防全国大会の後援

結核予防会主催の第69回結核予防全国大会を後援する。

なお、本協議会関連の主なる行事は次のとおりである。懇談会、記念写真撮影は、結核予防全国大会と別日程で行う。

【第1日】 5月18日（木）

北海道

イ. 研鑽集会

北海道（札幌パークホテル）

13:30～16:55

基調講演（未定）

シンポジウム（未定）

アトラクション（未定）

ロ. 大会歓迎レセプション

北海道（札幌パークホテル）

18:30～20:00

【第2日】 5月19日（金）

北海道

イ. 大会式典・議事

北海道（札幌パークホテル）

10:00～11:20

式次第

- (1) 開会のことば 公益財団法人北海道結核予防会会長
- (2) 大会運営委員長あいさつ 北海道知事
- (3) 結核予防会理事長あいさつ 公益財団法人結核予防会理事長 工藤 翔二
- (4) 結核予防会総裁おことば 公益財団法人結核予防会総裁
- (5) 秩父宮妃記念結核予防功労賞 第20回受賞者表彰
- (6) 来賓祝辞 厚生労働大臣
公益社団法人日本医師会会長
公益社団法人全国結核予防
婦人団体連絡協議会会長 木下 幸子

ロ. 特別講演

北海道（札幌パークホテル）

11:30～12:20

演 題：未定

講 師：未定

- (7) 閉会のことば 未定

※ 懇談会

帝国ホテル（舞の間） 平成29年3月23日（木） 15:50～16:30

※ 記念写真撮影

帝国ホテル（写真室） 平成29年3月23日（木） 16:40～16:45

2. 結核予防関係婦人団体幹部研修会の開催

結核予防関係婦人団体中央講習会を結核予防会との共催により開催する。

地区別結核予防婦人団体幹部研修会を、開催地区結核予防会各支部と地元婦人会との共催のもとに開催する。

結核予防を中心とした公衆衛生知識の向上と、各参加団体会員相互の交流を目的として実施する。

(1) 第21回結核予防関係婦人団体中央講習会

期 日： 平成29年2月13日（月）～14日（火）

場 所： KKRホテル東京（千代田区）

参加人数： 97名

(2) 地区別結核予防婦人団体幹部研修会（5地区）

- | | | |
|------------|--------|-----------|
| イ. 北海道地区 | （北海道） | 日程未定 |
| ロ. 東北地区 | （秋田県） | 11月16日（木） |
| ハ. 関東甲信越地区 | （神奈川県） | 日程未定 |
| ニ. 中国四国地区 | （香川県） | // |
| ホ. 九州地区 | （福岡県） | // |

3. 全国結核予防婦人団体連絡協議会創立40周年記念「婦人の国際会議」の実施

期 日 平成29年8月29日（火）

場 所 ホテルニューオータニ（東京都）

4. 結核予防週間の共催

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、結核予防会、日本医師会、並びに本協議会共催で、平成29年9月24日～30日に実施する。本週間中には、各地域において全国一斉複十字シール運動キャンペーンをはじめとする各種の行事を行うとともに、結核予防への関心を高める。

5. 教育広報誌「健康の輪」の発行

結核及び公衆衛生全般の知識の向上と会員相互の連携を深める目的で発行しているものであるが、平成29年度は、例年通り3月、7月、11月にそれぞれNo.119、No.120、No.121を発行配布する。体裁は、A4版、10頁で、年3回（1回につき33,000部）発行する。

6. 複十字シール運動の後援、実施

結核予防会主催、厚生労働省・文部科学省及び本協議会後援により実施されている本運動に参加し、結核予防の教育広報並びに資金造成に努める。

具体的には、以下の2事業を実施する。

- (1) 複十字シール運動開始日(8月1日)を中心として、結核予防会本部役員と本協議会会長が厚生労働大臣を、結核予防会各都道府県支部幹部職員と本協議会各都道府県の会長が各知事を表敬訪問し、「大会宣言」の説明に加え、全国及び地域の結核の現状を報告することにより、複十字シール募金運動の意義を理解していただき、各自治体から結核予防思想について広く一般に伝え、一層の普及を図っていただくよう依頼する。
- (2) 結核予防週間の初日(平成29年9月24日)を中心として全国一斉複十字シール運動キャンペーンを、結核予防会各都道府県支部との協力の下に実施し、本運動及び結核予防の普及啓発を図る。

7. 普及広報資材の製作

全国一斉複十字シール運動キャンペーン用資材を作成する。(予定)

8. 国際協力

結核予防会が行っている国際協力事業を進めるにあたっては、複十字シール募金を通じて資金造成に協力する。

また、結核対策スタディツアーは婦人会役員と結核予防会各支部のシール担当者並びに一般の参加を募り、開発途上国の婦人会への結核予防の知識普及啓発への協力をする。

期日 平成29年11月下旬～12月上旬頃

訪問地 カンボジア

参加者 (未定)

9. 世界結核デー

3月24日はWHOが制定した「世界結核デー」である。その周知についての広報活動を行い、「結核のない世界」をめざす。

10. 第6回国際結核肺疾患予防連合アジア太平洋地域学術大会(APRC2017)への協賛

3月22日(水)～25日(土)に東京国際フォーラムで学術大会が開催され、本会は本大会に協賛する。

11. ストップ結核パートナーシップ日本への参画

国内の結核対策を充実させ、結核低まん延国化を図る。またこれまでの知見を生かして結核が多い地域への支援を充実させる。このため、行政機関、研究機関、市民社会、民間企業などの多様なセクターで構成された連合体を組織し、加盟団体は協調して政治的支援、住民参加を得て日本と世界の結核対策を推進させる。

12. 生活習慣病対策の後援

これまでの僻地・離島を含めた全国津々浦々で結核健診と保健指導を一体として行ってきた

経験と実績をこれからの生活習慣病対策に活かすべく、健診と保健指導を中心とする JATA 健康ネットワーク事業を結核予防会本部支部が組織を挙げて推進している。

今日的国民病となった生活習慣病対策に取り組む結核予防会を支援し、さまざまな健診の受診率向上の推進及び生活習慣病対策を国民運動に高めていく。

13. COPD対策事業への取組

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見と早期治療のための普及啓発を行っている結核予防会と協力し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）に関する知識を深め国民の認識と理解を高めるために、地域住民をはじめとする社会への積極的な働きかけをして、第二次健康日本 21 の目標「80%の認知率」達成に協力する。

14. 世界禁煙デー

5月31日はWHOが制定した「世界禁煙デー」である。地球上からタバコの煙がない1日にする運動を行う。

15. 女性の健康週間の協力

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会主唱の「女性の健康週間」に本協議会は協力関係団体として取り組む。3月1日～8日（ただし、地域の実情による期間延長等の変更は差し支えない）の本週間中には、子宮がん・乳がん健診等の受診率アップや、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図るため、行政が行う各種の啓発事業及び行事等に積極的に協力する。

16. ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトの共催

一般社団法人ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトが主催する、医療支援を中心とした被災地（岩手県・宮城県・福島県）への支援活動「心の絆プロジェクト」に本協議会は共催し、結核予防会と共に健康チェックのひとつとして「肺年齢測定体験会」を実施する。

それにより、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の理解を呼びかけ、多くの市民に生活習慣病の予防についてのメッセージを発信していく。

17. 健康日本21推進全国連絡協議会への協力

すこやか生活習慣病国民運動実行委員会の加入団体として、医療、保健、栄養（食生活）、運動、禁煙の各専門分野（分科会）からの情報を共有し、事業展開に協力していく。

また、厚生労働省主催のスマートライフプロジェクトイベントに積極的に参加し、肺年齢測定のブース出展をし「肺年齢体験会」を実施してCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の知識を高め、禁煙支援や生活習慣病予防の普及啓発活動を行う。

18. 会議の開催

(1) 定期社員総会

期日 平成29年3月23日（木） 17:10～17:50（予定）

場所 東京国際フォーラムガラス棟 G701

議案 平成28年度事業報告 並びに収支決算 について

平成29年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

一部役員を選任について

(2) 理事会

第1回

期日 平成29年1月26日議案発送

場所 書面による理事会

議案 平成28年度事業報告 並びに収支決算 について
平成29年度事業計画(案) 並びに収支予算(案) について
一部役員を選任について
会長、副会長、執行理事からの活動報告

(3) 理事会

第2回

期日 平成29年11月(予定)

場所 結核予防会5階 大会議室(予定)

議案 平成30年度事業計画(案) について
平成30年度収支予算(案) について
平成30年度定期社員総会の開催について
会長、副会長、執行理事からの活動報告